

武士^{ぶし}は、静^{しず}かに立^たち上^あがった。

目^めの前^{まえ}には、裁^さきを待^まつ男^{おとこ}がいた。

「お前^{まえ}に、最^{さい}後^ごに言^いいたいことは

ないか。」

男^{おとこ}は、じつと前^{まえ}を見^みつめたまま、

ゆっくりとうなずいた。

森^{もり}鷗^{おう}外^{がい}「最^{さい}後^ごの一^い句^く」より